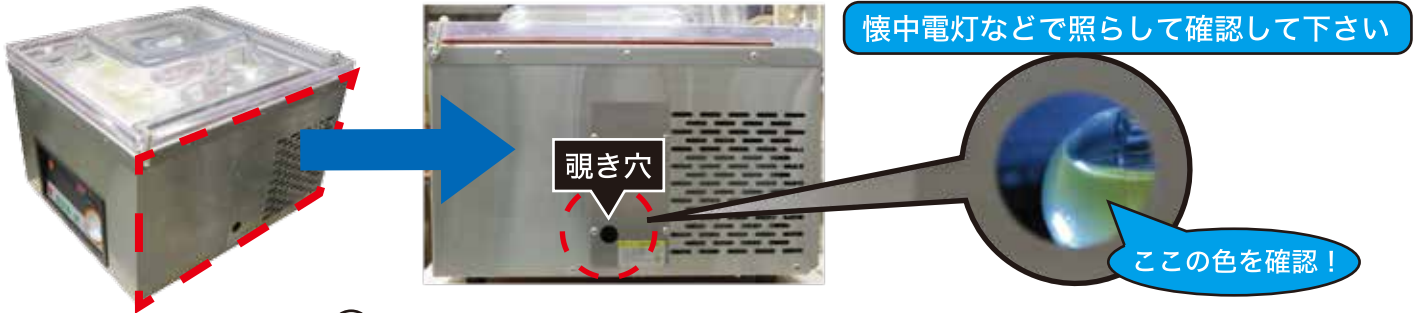
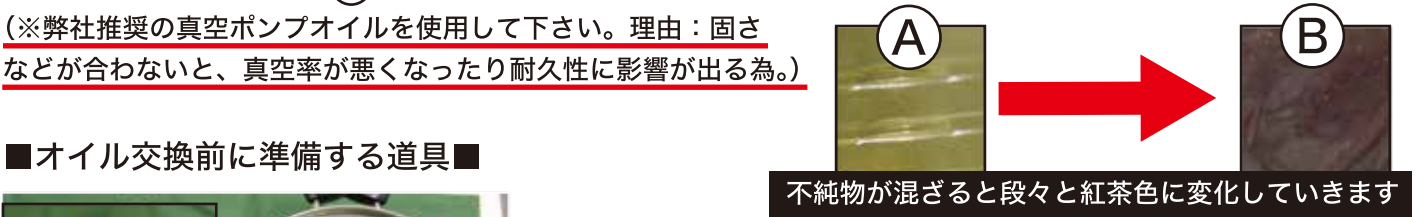


## 200V用真空ポンプオイルの交換 (二人で作業する事を推奨します)

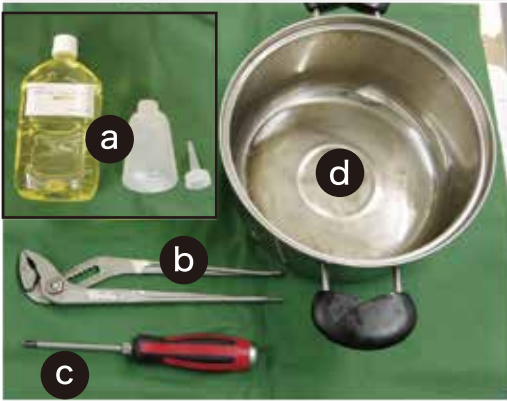
- ①本体右側の覗き窓から、真空ポンプオイルの色を見て汚れ具合を確認します。  
(※汚れたまま使い続けると、故障の原因となります。)



- ②真空ポンプオイルの色が (B) 色 (紅茶色) になったら、オイル交換をします。  
(※弊社推奨の真空ポンプオイルを使用して下さい。理由：固さなどが合わないと、真空率が悪くなったり耐久性に影響が出る為。)

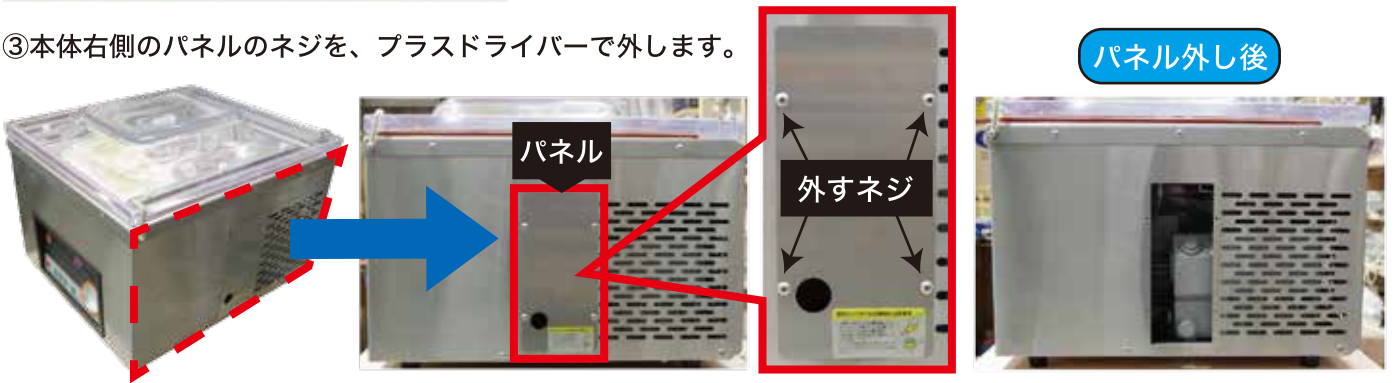


### ■オイル交換前に準備する道具■



- a : 新しい 200V 用真空ポンプオイルと、オイル差し
- b : ウォーターポンププライヤー
- c : プラスドライバー
- d : 容器 (古いオイルを入れるのに使います。写真では鍋を使っていますが、ボウルや袋でもOKです)

- ③本体右側のパネルのネジを、プラスドライバーで外します。



- ④本体を台などに乗せ、右側面を 7 cm ほど出し少し角度を付けます。(オイル排出しやすくする為です。)

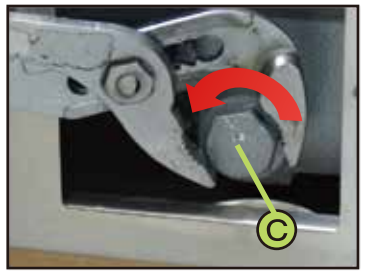


**200V用真空ポンプオイルの交換 (二人で作業する事を推奨します)**

⑤ **C** をウォーターポンププライヤーで緩めます。



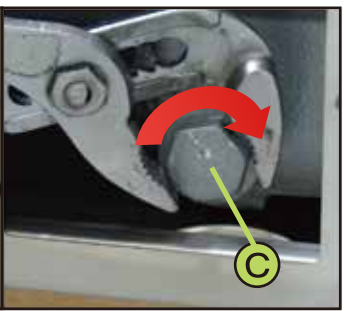
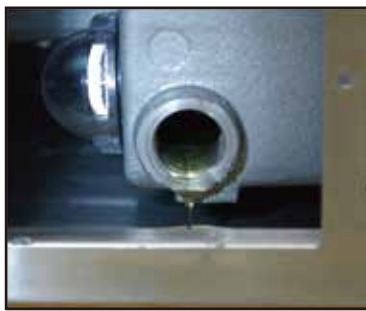
- D** オイル注入ボルト
- E** オイル量の確認窓
- C** オイル排出ボルト



⑥ 容器を下に置き、**C** を取ってオイルを排出します。



⑦ 3分程待ちオイルが抜けたら、**C** ボルトを戻して下さい。  
(※無理に全てのオイルを排出しようと、  
本体を傾け過ぎるのは危険ですので、ご注意下さい。)



⑧ 本体の脚を台に戻し、水平にします。



⑨ **D** の注入ボルトをウォーターポンププライヤーで外します。



⑩ 「オイル差し」にオイルを入れます。



⑪ 「オイル差し」で **D** 穴にオイルを注入します。注ぐ量は、**E** の確認窓を目安して下さい。(※機械の製造年数により、注ぐ量が変わります)



⑫ **D** ボルトを戻し、本体右側のパネルをネジ留めし、オイル交換の作業完了です。

※2015年製以前の機械で、【6割】のオイル交換をして真空率が悪くなった場合は、  
オイルが少ない可能性があります。その際は、オイル量を【8割】にして下さい。